

全国一斉情報伝達訓練を実施します

図 防災危機管理局(☎65-6555)

地震や武力攻撃などの発生時に備え、情報伝達訓練を行います。この訓練は、全国瞬時警報システム(Jアラート)によるもので、長浜市以外の地域でも様々な手段を用いて情報伝達訓練が行われます。屋外スピーカーで左記の放送を行います。音声聞こえるか確認してください。

【とき】3月14日(水) 11時

【放送内容】

- ① Jアラートチャイム
- ② これは、Jアラートのテストです
- ③ ※3回繰り返す
- ④ Jアラートチャイム

Jアラートとは

国が緊急情報を入手した際、人工



衛星等を用いて市区町村に瞬時に情報を送るシステムです。これは防災行政無線と連動しており、弾道ミサイルや地震に関する情報などが送られてきた場合や気象情報が発表された場合に、その内容に応じた音声自動的屋外スピーカーなどから放送されます。

公共交通を利用しましょう

図 都市計画課(☎65-6562)

期間限定のお得なJRきっぷを使って、便利で安全な鉄道旅行に出かけませんか。

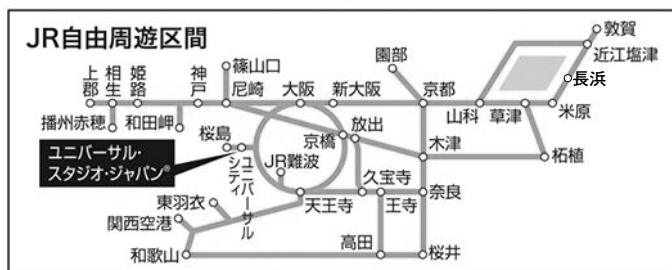
ユニバーサル・スタジオ・ジャパンスペシャルきっぷ(関西エリアフリータイプ)

左図の周遊区間が1日乗り放題(普通列車※快速、新快速含む)の切符とUSJ入場券(1デイスタジオパス)、ハリポッター入場確約券、パタービル(マグ付)引換券がセットで10,400円(子ども6,620円)です。

【発売期限】

3月30日(金)

※詳しくはみどりの窓口、主な旅行会社までお問合せください。



高齢者医療を考えるセミナーを開催します

図 健康推進課(☎65-7779)

100歳まで生き抜くための知恵とヒント

自分らしく生き抜くために、在宅医療の現状を知り、これからの生き方に活かしていきませんか。

【とき】3月25日(日)

13時30分～15時40分

(13時受付)

【ところ】長浜市民交流センター

(地福寺町)

【定員】200人(先着順)

【内容】

〈第一部〉

基調講演「医師が感じている本音の話」

講師 浅井東診療所 所長 松井善典氏



松井 善典 氏

医師として、地域の患者さんと関わる中で感じていることや、高齢者に起こりやすい問題に対しての備え等についての講演です。

〈第二部〉パネルディスカッション

「家にいたい」を支える在宅医療のいま

各分野の支援内容や考え方、アドバース、連携など、これからの医療を考えます。

パネリスト

医師	松井 善典 氏
歯科医師	瀧上 啓志 氏
薬剤師	西井 伸善 氏
看護師	谷口 泉 氏
ケアマネジャー	藤井 彩 氏
コーディネーター	
医師	手操 忠善 氏

【申込み】

①住所(所属)②氏名③電話(FAX番号)を記入して、電話またはFAXで左記までお申し込みください。

問合せ・申込先

長浜東ロータリークラブ事務局
☎ 63-3500
FAX 62-6618

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、449件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介しします。

※平成30年1月1日現在

長浜市指定文化財 大人塚古墳

指定日:昭和54年5月1日指定

所在地:木尾町



▲大人塚古墳(遠景)

木尾町には、大人塚古墳という変わった名前の古墳があります。古墳とは、古代の有力者や地域豪族の墓で、自然丘陵の地形を利用したり、見晴しのよい街道筋などに築くことによって、被葬者の権力の強さを見せつける構造物となりました。

大人塚古墳は地域有力者の墓と考えられます。この古墳は自然丘陵を利用して造られたもので、地形的に見ても田川周辺の集落を見下ろす位置にあります。これは、有力者は死してなお集落を支配する、という意味が込められているものとみられます。古墳は元々3基ありましたが、耕地整理のため1基が破壊され、現在は丘陵部に2基の円墳が残っています。大人塚古墳以外にも、周辺の山稜部には木尾古墳群、城山古墳群があり、古墳時代の有力者たちの存在が想像できます。

大人塚古墳の名称の由来は、『木尾のいまむかし』(平成7年(1995))によると「弘文帝(大友皇子)御陵と伝ふ。壬申の乱、日本書紀によれば、田根根は、物部氏より近江朝右大臣金連の莊園にして、近江朝敗亡の末領莊田根に蟄伏し、潜に再挙を謀りしが、吉

野朝に探索され、田根莊八島にて斬に処せられたとあるが、弘文帝も同時に処刑され大人塚に葬られたのではあるまいか。口伝によれば昔時は君塚と呼ばれるして居たが余りにも恐れ多い呼び方であるので大人塚と変更した」とあります。実際に弘文帝(大友皇子)が葬られたとは考えにくいのですが、よく似た話として、東上坂町には、継体天皇の皇子である魂皇子の墓と伝承される墓立古墳があります。中世の開墾で、小さな古墳が破壊され、盟主墳と呼ばれる大型の古墳だけが崇りを恐れて残されることがありました。このため、これらの古墳は、歴史上の人物の名をかりて、中近世の農耕開発による破壊を免れたのではないのでしょうか。

また出土品に関しては、戦前に田中礎氏が発掘調査を行ったことが知られており、その際いくつかの土器が出土しています。これらの土器は八雲コレクション(田中氏の号は八雲であったので、この名称を用いた)と名付けられ、現在は浅井歴史民俗資料館に保管されています。昭和3年(1928)には、大人塚古墳南方の道路工事の時、腐食した直刀二振りが出土しました。



▲大人塚古墳(近景)

図 長浜城歴史博物館

(☎63-4611)